

受検番号	
------	--

社 会

注 意

- 1 開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答は、全て解答用紙に記入下さい。
- 3 解答を選択肢から選ぶ問題は、記号で書き下さい。
- 4 問題用紙は、冊子の形になっています。
- 5 問題は、表紙の裏を1ページとし、7ページまであります。開始の合図で問題用紙の各ページを確認し、始め下さい。
- 6 問題用紙の表紙と解答用紙の受検番号欄に、それぞれ受検番号を記入下さい。

1

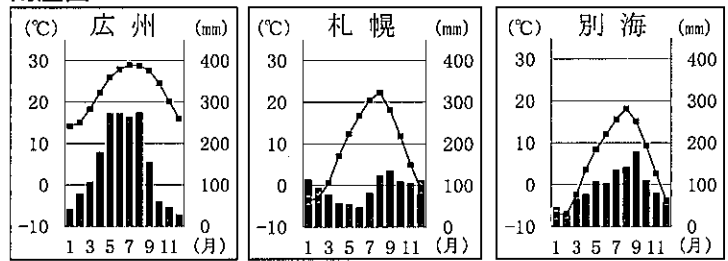
花子さんたちは、社会の授業で、農業がさかんな地域について調べています。後の1から7までの各問いに答えなさい。

米の生産量の多い国・道県(2012年)(単位:千t)

順位	世界		日本	
	国名	生産量	道県名	生産量
1	中国	205,985	新潟県	656
2	インド	152,600	北海道	641
3	インドネシア	69,045	秋田県	522

【「世界国勢図会2014/15」,「データで見る県勢2014」より作成】

雨温図



【「平成26年理科年表」,および気象庁観測所情報より作成】

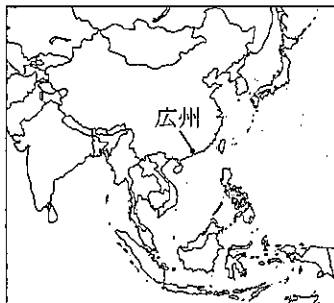
太郎さん：世界の米の生産量の上位3か国はアジアの国だね。中国では南部を中心に稲作がさかんだと聞いたよ。中国の南部にある広州は雨温図を見ても暖かい地域なので、稲の栽培に適していることが分かるね。

花子さん：それなら、①どうして北海道で米の生産量が多いのかな。

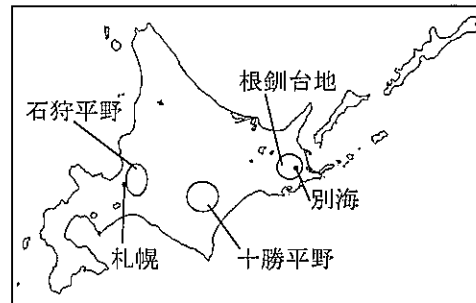
太郎さん：教科書で、アジアと北海道の農業の特色を調べ、ノートにまとめよう。

ノート

アジアの地図

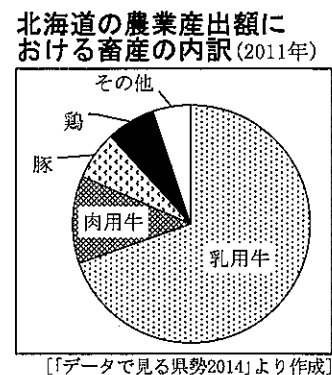
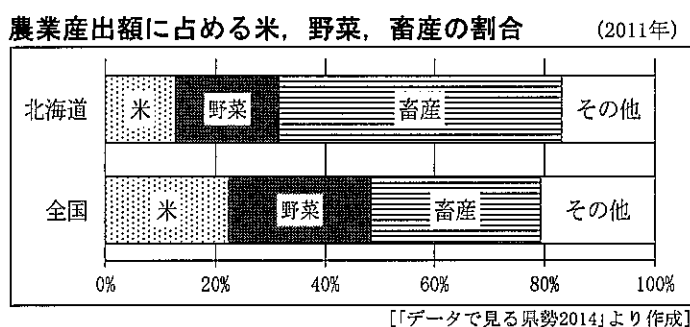


北海道の地図

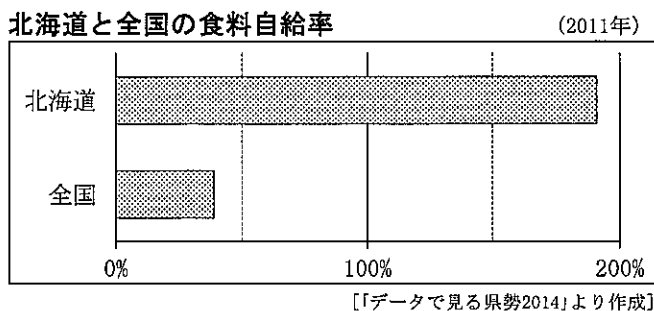


	アジアの様子	北海道の様子
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 大きな河川の流域に広い平野がある。 中国の南部から、東南アジア、インドにかけて②モンスーンの影響を受ける。 赤道付近は、1年中高温で雨が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 石狩平野、十勝平野、根釧台地などの広い平野がある。 国内の他の地域と比べて、冬の寒さが厳しく、夏は涼しい。
稲作	<ul style="list-style-type: none"> 中国の南部から、東南アジア、インドにかけて稲作がさかんである。 ③二期作をしているところもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道の中では、夏の気温が比較的高くなる石狩平野などを中心に、稲作がさかんである。 石狩平野には、稲作に適さない泥炭地が広がっていたが、大規模な土地改良を行った。
畑作	<ul style="list-style-type: none"> 中国の北部は雨が少なく、畑作がさかんである。 	<ul style="list-style-type: none"> 十勝平野は、稲作に適さない火山灰地で、畑作がさかんである。
畜産	<ul style="list-style-type: none"> 中国の西部など乾燥している地域で、遊牧などの牧畜がさかんである。 	<ul style="list-style-type: none"> 火山灰でおおわれている④根釧台地は酪農がさかんである。
人働々きのかけ	<ul style="list-style-type: none"> かんがい施設の整備などにより、米の増産がされてきた。 機械化が進みつつあるが、今なお作業には多くの労働力を使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 明治時代から⑤開拓が進められ、大規模な農業生産が行われるようになった。 泥炭地の排水をよくするため、水路を整備した。 品種改良により、寒さに強い稲を開発した。 大型の農業機械を導入している。
農産物の流通	<ul style="list-style-type: none"> 人口が多く、米が主食の国では、米の多くは国内で消費されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥日本の食料基地といわれている。 交通網や、保冷輸送技術の発達で、全国に出荷されている。

- 1 下線部①のように花子さんが疑問に思った理由を，広州と札幌の雨温図を参考にして書きなさい。
- 2 下線部②について，正しく説明しているものを，次のアからエまでのの中から1つ選びなさい。
 ア 台風が発生すると吹く，強い風。
 イ 1年を通して吹く，西向きの風。
 ウ 冷害の原因となる，夏に北東から吹く冷たい風。
 エ 季節によって向きが変わり，夏は海洋から，冬は大陸から吹く風。
- 3 下線部③は，どのような栽培方法か。次のアからエまでのの中から1つ選びなさい。
 ア 同じ農地で，1年に2種類の作物を栽培すること。
 イ 同じ農地で，同じ作物を1年に2回栽培すること。
 ウ 2つの農地で，同じ作物を1年に1回栽培すること。
 エ 1年は栽培し，もう1年は栽培せず土地を休ませ，2年に1回，作物を栽培すること。
- 4 次の2つの資料から，北海道は酪農がさかんであることが分かります。下線部④のように根釧台地で酪農がさかんに行われている理由を，雨温図やノートを参考にして書きなさい。



- 5 下線部⑤のために，明治時代に北方の警備を兼ねて送られた兵士を何と呼んでいたのか。書きなさい。
- 6 北海道では，自然環境をどのように克服して稲作をさかんにしてきたのか。ノートに書かれていることを参考にして書きなさい。
- 7 花子さんたちは，新たに次の2つの資料を見つけました。この2つの資料とノートから読み取れることを含めて，北海道が下線部⑥といわれている理由を書きなさい。



北海道で生産された農畜産物などの道外へ出荷されている割合 (2012年)

品目名	割合 (%)
米	75.7
小麦	86.1
豆類	54.6
野菜類	74.6
牛肉	61.5
乳製品	71.2

〔北海道開発局「農畜産物及び加工食品の移出実態調査結果報告書」より作成〕

2

花子さんたちは、社会の授業で、「人や物の交流の歴史」をテーマにして調べ学習をすることになり、調べたことをノートにまとめ、話し合いました。後の1から8までの各問いに答えなさい。

ノート1<花子さんのノート>

<p>著作権使用許諾 申請中</p>	<p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世を中心に、馬借などの運送業者が、さまざまな物資を運び、活躍した。
------------------------	---

春男さん：中世に馬借などの運送業者が活躍できたのはどうしてだろうか。
 明美さん：米を運んでいるように見えるね。農業や農村に変化があったのかな。
 太郎さん：米以外の物も運んでいたんだね。
 花子さん：中世の産業や社会の様子について調べてみるね。

ノート2<花子さんのノート>

<p>中世の産業や社会の様子</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛馬を使った耕作や二毛作が広がる。 ・草や木の灰、人や牛馬のふん尿を肥料として使用するようになる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>商業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期市が開かれるようになる。 ・土倉という質屋が現れ、酒屋が高利貸しを営むようになる。 </div>	<p>農村の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄合で下のような村のおきてを作ったり、森林の管理や農作業を共同で行ったりしている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ー 森林の苗木を切り取った者は、五百文の罰金とする。 ー 堀から東には、屋敷をつくってはならない。 </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">【『今堀日吉神社文書』より一部要約】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>手工業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手工業者が現れ、各地で紙や陶器などの特産物が作られるようになる。 </div>
--	--

明美さん：①中世になると、貨幣が広く使用されるようになってきたのかな。
 春男さん：農村では②農民が運営する自治組織ができていたことも分かるね。
 太郎さん：そうだね。③農業や農村の変化、手工業や商業の変化など馬借たちが活躍した中世の産業や社会の様子がよく分かるね。近世に入ると、様子が変わるのかな。
 花子さん：中世から近世に移行する時期の、産業や社会に関係することについて調べてみるね。

- 下線部①に最も関係の深いできごとを、次のアからエまでのの中から1つ選びなさい。
 ア 最澄が遣唐使とともに唐にわたり、仏教を学ぶ。
 イ 朝鮮通信使と呼ばれる使節が日本を訪れる。
 ウ 小野妹子らが遣隋使として隋に派遣される。
 エ 足利義満が勘合を使った日明貿易を始める。
- 下線部②について、このような自治組織を何と呼ぶのか。書きなさい。
- 下線部③について、ノート1, 2を参考にして、「農業」「定期市」「特産物」という言葉を使って、中世の産業や社会の様子を、80字以上、100字以内で書きなさい。

ノート3<花子さんのノート>

- 一 安土城下で楽市を命じる上は、座の特権や税などはすべて免除する。

『安土山下町中掟書』より一部要約

メモ

- ・織田信長は楽市・楽座の政策を行い、商工業を活発にしようとした。

春男さん：どうして④楽市・楽座の政策を行うことが、商工業を活発にすることになるのかな。
 明美さん：座がどのような組織で、どのような特権をもっていたのかを考えれば、分かるのではないかな。
 太郎さん：織田信長は海外から日本に来ていた人たちと交流があったと聞いたので、調べてみるよ。

4 下線部④について、ノート3を参考にし、「座」の内容とともに、その理由を説明しなさい。

ノート4<太郎さんのノート>

メモ

- ・南蛮人と呼ばれていたポルトガル人やスペイン人が日本に来航し、鉄砲や時計などを伝えた。

著作権使用許諾
申請中

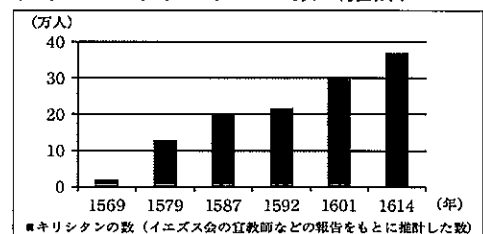
明美さん：南蛮人の来航はいつまで続いたのかな。
 春男さん：江戸幕府も南蛮人の来航を最初は認めていたけれど、後に禁止したそうだよ。
 花子さん：なぜ南蛮人の来航を禁止したのかな。
 太郎さん：その背景について調べてみるよ。

ノート5<太郎さんのノート>

年表 豊臣秀吉と江戸幕府の対外政策

1587年	豊臣秀吉がキリスト教の宣教師の国外追放を命じる。
1613年	江戸幕府は全国でキリスト教を禁止する。
1624年	スペイン人の来航を禁止する。
1635年	日本人の海外渡航と海外からの帰国を禁止する。
1639年	ポルトガル人の来航を禁止する。
1641年	平戸のオランダ商館を長崎の出島に移す。

グラフ キリシタンの数（推計）



〔五野井隆史著「日本キリスト教史」より作成〕

明美さん：豊臣秀吉がキリスト教の宣教師の追放を命じてからも、江戸幕府がキリスト教を禁止するまでの間にキリシタンの数が増えているね。どうしてかな。
 春男さん：⑤南蛮人の来航が続いていたことも関係していると思うよ。
 明美さん：それで、豊臣秀吉が宣教師の追放を命じた後もキリシタンが増えているんだね。だから、後にスペイン人やポルトガル人の来航も禁止されたのではないかな。
 花子さん：年表にあるように、オランダ人は長崎の出島に移されて、限られた日本の商人とだけ貿易を行い、⑥幕府にオランダ風説書を提出しなければならなかったそうだよ。
 明美さん：海外との交流が制限されたんだね。国内の船による輸送はどうなのかな。調べてみるね。

5 下線部⑤について、豊臣秀吉や当初江戸幕府は、なぜ南蛮人の来航を認めていたのか。その理由を書きなさい。

6 下線部⑥について、どのような目的で、幕府にだけオランダ風説書を提出させていたのか。書きなさい。

ノート6<明美さんのノート>

著作権使用許諾
申請中

メモ

・菱垣廻船などにより、木綿や油などが
大阪から江戸に運ばれていた。

太郎さん：大阪から江戸に多くの物資が運ばれていたんだね。

花子さん：⑦江戸時代の大阪は繁栄していて、後に天下の台所と呼ばれたそうだよ。

春男さん：それで、大阪など上方を中心に、⑧元禄文化が生まれたんだね。

- 7 下線部⑦について、その様子として最も適切なものを、次のアからエまでの中から1つ選びなさい。
- ア 東まわり航路で運ばれてきた物資が集まる一大消費地であった。
 - イ 諸藩の蔵屋敷が置かれ、商業や金融の中心地であった。
 - ウ 多くの公家が住み、芸術・文化の中心地であった。
 - エ アイヌとの交易が行われ、日米和親条約による開港地であった。
- 8 下線部⑧について、その特徴として最も適切なものを、次のアからエまでの中から1つ選びなさい。
- ア 雪舟によって描かれた水墨画に代表され、禅宗の影響を受けた文化である。
 - イ 狩野永徳によって描かれた華やかな絵に代表され、壮大で豪華な文化である。
 - ウ 菱川師宣によって描かれた浮世絵に代表され、町人をにない手とする文化である。
 - エ 黒田清輝によって描かれた西洋画に代表され、西洋の影響を強く受けた文化である。

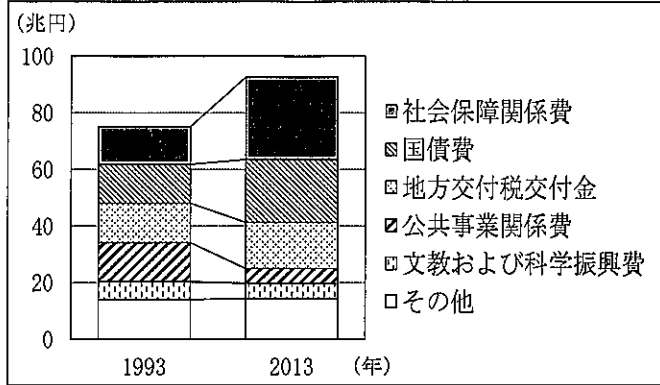
3

太郎さんたちのクラスでは、3年生の学習を振り返り、グループで話し合いをしています。後の1から5までの各問いに答えなさい。

グループ1 (テーマ: 日本の一般会計の歳出と歳入について)

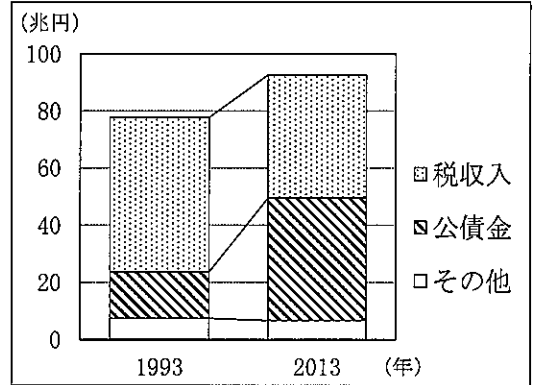
太郎さんたちは、日本の一般会計の歳出と歳入について、1993年と2013年を比べ、話し合っています。

資料1 一般会計歳出内訳



【「数字で見る日本の100年」より作成】

資料2 一般会計歳入内訳



【「数字で見る日本の100年」より作成】

太郎さん: 日本の一般会計の歳出, 歳入はともに増えているね。歳出では社会保障関係費が増えているね。

由美さん: 病院で治療を受けたときに支払う金額は, 実際にかかった医療費よりも少ないと聞いたよ。これは, ①普段からお金を積み立て, 必要なときに給付を受けているからだそうよ。また, 医療費の一部は国が負担していると聞いたよ。

太郎さん: 国民が安心して生活できるよう, 社会保障にも税金は使われているんだね。

由美さん: 歳入では, 公債金の割合が増えているね。

太郎さん: 2013年の状況が続くと, ②国の借金が, どんどん累積していくのではないかな。

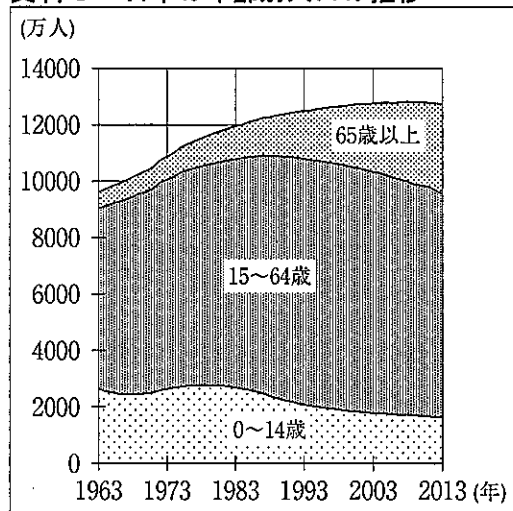
1 下線部①に当てはまるものを, 次のアからエまでのの中から1つ選びなさい。

- ア 社会保険 イ 社会福祉 ウ 公的扶助 エ 公衆衛生

2 太郎さんは, なぜ下線部②と考えたのか。資料1, 2から分かる理由を書きなさい。

3 太郎さんたちは, 日本の年齢別人口の推移を調べて資料3のグラフを作成しました。今後も, 少子高齢化が進むと, 日本の一般会計の歳出, 歳入において, どのような課題があると考えられるか。資料1から資料3までを見て, 具体的に書きなさい。

資料3 日本の年齢別人口の推移



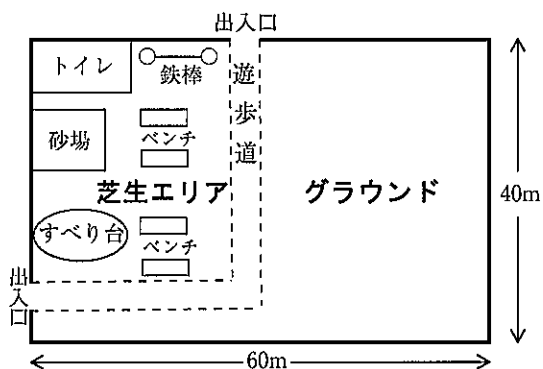
【総務省統計局資料より作成】

グループ2（テーマ：地域の公園の利用方法について）

地域の公園では、芝生エリアを利用したいという人はたくさんいますが、毎日長時間グラウンドでボールが使用されており、危険だということで、そのときに芝生エリアを利用する人はほとんどいません。また、グラウンドにおいてもボール遊び以外でグラウンドを利用したいという声が多くあります。一方で、グラウンドでボールを使用している人たちは、近くにボールを使用できる場所がないので、この地域の公園でのボールの使用を強く望んでいます。

健太さんたちは、地域の公園でボールを使用することについて話し合い、出た意見を付せんに書いて、どうすればみんながこの公園を利用できるか考えました。

地域の公園の見取図



地域の公園でボールを使用することについて

【出た意見】

ボールを使って運動をしたい人が多くいる。

飛んできたボールが当たると危険である。

ボールの使用時間を制限すれば、芝生エリアの利用が増える。

地域で、ボールを使って遊べる場所は公園しかない。

ボールの使用を制限すると、それ以外の目的で多くの人がグラウンドを利用できる。

芝生エリアや遊歩道に、ボールが行かないように注意すればよいのではないかと。

【グループで考えた案】

第1案

どの時間帯であっても、グラウンドを含めて、公園でのボールの使用を禁止する。

第2案

公園を利用する人たちが話し合って、グラウンドでボールの使用できる時間帯を決める。

4 【グループで考えた案】について健太さんたちはさらに話し合い、第1案は「公正」の視点から、課題があると考えました。どのような課題があるか。書きなさい。

5 健太さんたちは第2案が、地域の公園の利用について「効率」がよいと考えました。なぜ「効率」がよいと考えたのか。具体的に書きなさい。

※印の欄には何も記入しないこと。

1

※

1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

2

※

1		
2		
3		

3

※

4		
5		
6		
7		
8		

1		
2		
3	歳出	
	歳入	
4		
5		

※